

## 一般質問

九月定例会では、九人から一般質問が行われました。掲載は質問順です。

### 前代未間の財政危機に 如何に対処するのか



大迫 邦藏議員

**大迫 邦藏議員** わが国の経済はバブル崩壊後、深刻な不況に喘いでいる。このため、国の財政も大変苦しくなっている。例えば、地方交付税は一〇兆一、三〇〇億円の財源不足となっている。県においても「財政改革プログラム」を作成して、収入の確保に努める一方、支出の削減を行っている。本町においても、普通交付税、特別交付税、町税など「主な一般財源」は昨年と今年を比べた場合、

三億三、七〇〇万円減っている。また、「繰出金・負担金」は平成十一年度と今年を比べても、約三億四千万円増えている。このように「主な一般財源」は減る一方、「繰出金・負担金」は、毎年増えている。結局、財源不足は「基金」に依存することになり、近年、基金の取り崩しが多額になっている。

こうした財政運営の結果、「経常収支比率」は平成十一年度八六・五割、平成十二年度八六・八割、平成十三年度九一割になっている。そこで、こうした前代未間の財政危機に如何に対処するのか、所見を求める。



生活に密接した道路整備事業（愛宕松ヶ迫線）

### ありとあらゆる手だてで 急場に対処したい

**北村町長** 今日、国債と地方債の残高は、六九三兆円になっている。これは国民一人当たり五五〇万円

円の借金を負っていることになる。当然のことながら、本町の財政も極めて厳しい状況にある。し

たがって、この急場に対処するための基本方針として、

- (一) 歳入に見合う歳出予算の編成
- (二) 投資効果の徹底検証による事務事業の見直し
- (三) 職員一人ひとりのコスト意識の徹底による経常経費の節減

この三点をベースにして、具体的には、

- イ、運営補助金・繰出金の見直し
- ロ、地方債・投資的経費のキャップ制
- ハ、人件費・事務事業経費の削減など

に努めたい。また、「町村合併」は財政運営上からも、避けて通ることのできない課題であるので、全力をあげて取り組む決意である。